

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-522849(P2004-522849A)

【公表日】平成16年7月29日(2004.7.29)

【年通号数】公開・登録公報2004-029

【出願番号】特願2002-573824(P2002-573824)

【国際特許分類第7版】

C 0 8 F 4/646

C 0 8 F 10/00

【F I】

C 0 8 F 4/646

C 0 8 F 10/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成17年2月23日(2005.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(A) マグネシウム、ハロゲン；エーテル、エステルまたはアミンから選択される電子供与体、および  $T_{i^{(red)}} / T_{i^{(tot)}}$  の間の重量パーセント比 ( $T_{i^{(red)}}$  が 4 より小さな原子価を有するチタン原子の固体触媒成分に対する重量パーセントであり、かつ  $T_{i^{(tot)}}$  が全チタン原子の固体触媒成分に対する重量パーセントである) が、約 0.05 から約 1 の範囲であるような酸化状態にあるチタン原子から構成される固体触媒成分と、(B) A 1 - アルキル化合物とから構成される触媒系の存在下に行われる、任意にオレフィン  $C_{H_2} = C H R$  (式中、R は水素または 1 ~ 12 の炭素原子を有するヒドロカルビル基である) との混合物でのエチレンの重合方法。

【請求項2】

電子供与化合物が、フタル酸のアルキルエステルから選択される請求項1による方法。

【請求項3】

触媒成分 (B) が、トリアルキルアルミニウム化合物である請求項1による方法。

【請求項4】

80 % より高いエチレンから誘導されたユニットのモル含有量を有し、かつ 0.8 より高い、キシレンに可溶の画分の固有粘度と全ポリマーの固有粘度との比率により特徴付けられる、エチレンと 3 から 12 の炭素原子を有する 1 つまたはそれ以上のアルファ - オレフィンとのコポリマー。